

病態制御薬理学研究室

Clinical Pharmacology

教授	笹岡 利安	Toshiyasu Sasaoka
准教授	恒枝 宏史	Hiroshi Tsuneki
講師	和田 努	Tsutomu Wada

◆ 原著

- 1) Honoki H, Yagi K, Tsuda S, Wada T, Enkaku A, Nakagawa-Yokoyama M, Kamigishi M, Shikata M, Takikawa-Nishida A, Fujisaka S, Chujo D, Sasaoka T, Nakashima A, Saito S, Tobe K. Type 1 diabetes woman with repeated miscarriages successfully gave birth after introducing an insulin pump with an automated low glucose suspend feature. *Diabetol Int*. 2021 Mar 6; 12(3): 324-329. doi: 10.1007/s13340-020-00489-9.
- 2) Tanaka T, Wada T, Uno K, Ogihara S, Ie H, Okekawa A, Ishikawa A, Ito T, Miyazawa Y, Sameshima A, Onogi Y, Tsuneki H, Sasahara M, Nakashima A, Saito S, Sasaoka T. Oestrogen receptor α in T cells controls the T cell immune profile and glucose metabolism in mouse models of gestational diabetes mellitus. *Diabetologia*. 2021 Jul 1; 64(7): 1660-1673. doi: 10.1007/s00125-021-05447-x.
- 3) Goldstein N, Tsuneki H, Bhandarkar N, Aimaretti E, Haim Y, Kon K, Sato K, Wada T, Liberty IF, Kirshtein B, Dukhno O, Maixner N, Gepner Y, Sasaoka T, Rudich A. Human adipose tissue is a putative direct target of day-time orexin with favorable metabolic effects: A cross-sectional study. *Obesity*. 2021 Nov 1; 29(11): 1857-1867. doi: 10.1002/oby.23262.
- 4) Okada T, Wu N, Takashima K, Ishimura J, Morita H, Ito T, Kodama T, Yamasaki Y, Akanuma S, Kubo Y, Hosoya K, Tsuneki H, Wada T, Sasaoka T, Shimizu T, Sakai H, Dwoskin LP, Hussaini SR, Saporito RA, Toyooka N. Total synthesis of decahydroquinoline poison frog alkaloids ent-cis-195A and cis-211A. *Molecules*. 2021 Dec 12; 26(24): 7529. doi: 10.3390/molecules26247529.

◆ 総説

- 1) 笹岡利安, 恒枝宏史. うつと糖尿病の悪循環を防止するオレキシン系を介した睡眠・覚醒調節機構. *生体の科学*. 2021 Oct 15; 72(5): 478-480.
- 2) 和田 努, 笹岡利安. 目で見えるホルモンと行動・代謝から見たエストロゲンと不安・抑うつ. *Hormone Frontier In Gynecology*. 2021 Dec 1; 28(4): 4-7.

◆ 学会報告

- 1) 前田貴大*, 恒枝宏史, 杉山聖典, 石塚日菜子, 大塚小由希, 和田 努, 笹岡利安. 視床下部オレキシンの自律神経を介した肝ERストレス制御による非アルコール性脂肪肝炎および肝細胞癌の進展防御機構. 日本薬理学会第141年会; 2021 Mar 26-29; Web開催.
- 2) 和田 努, 田中智子, 叶 喬博, 恒枝宏史, 中島彰俊, 齋藤 滋, 笹岡利安. 妊娠糖尿病病態におけるT細胞エストロゲン作用の重要性. 第94回日本内分泌学会学術総会; 2021 Apr 22-24; Web開催.
- 3) 杉山聖典*, 恒枝宏史, 佐藤清史, 今 寛太, 和田 努, 笹岡利安. オレキシン受容体拮抗薬レンボレキサントによる2型糖尿病マウスの睡眠障害と代謝障害の改善効果. 第64回日本糖尿病学会年次学術集会; 2021 May 20-22; Web開催.
- 4) 前田貴大*, 恒枝宏史, 杉山聖典, 石塚日菜子, 高田慎治郎, 和田 努, 笹岡利安. 視床下部オレキシンの中枢作用は食餌性肥満に伴う非アルコール性脂肪肝炎および肝細胞癌進展を防御する. 第64回日本糖尿病学会年次学術集会; 2021 May 20-22; Web開催.
- 5) 田中智子, 宇埜生美恵, 荻原沙季, 叶 喬博, 石川明香里, 伊藤哲生, 宮澤佑一朗, 鮫島 梓, 小野木康弘, 恒枝宏史, 齋藤 滋, 中島彰俊, 笹岡利安. 妊娠糖尿病マウスにおけるエストロゲンのT細胞を介したインスリン分泌促進・慢性炎症抑制作用. 第64回日本糖尿病学会年次学術集会; 2021 May 20-22; Web開催.
- 6) 桶川 晃*, 和田 努, 北村楓花, 恒枝宏史, 笹岡利安. ペリサイトPDGFシグナルを介した視床下部慢性炎症とエネルギー代謝制御機構. 第64回日本糖尿病学会年次学術集会; 2021 May 20-22; Web開催.
- 7) 笹岡利安, 恒枝宏史, 和田 努. 炎症細胞による脂肪組織のリモデリング. 第64回日本糖尿病学会年次学術集会;

2021 May 20-22 ; Web開催.

- 8) Maeda T*, Tsuneki H, Sugiyama M, Ishizuka H, Takata S, Wada T, Sasaoka T. Hypothalamic orexin prevents the development of non-alcoholic steatohepatitis and hepatocellular carcinoma in mice fed high fat diet. 第64回日本糖尿病学会年次学術集会 ; 2021 May 20-22 ; Web開催.
- 9) 前田貴大*, 恒枝宏史, 杉山聖典, 石塚日菜子, 和田 努, 笹岡利安. 視床下部オレキシンの中枢作用を介した肝ERストレス適応調節による非アルコール性脂肪肝炎および肝細胞癌の進展防御機構. 生体機能と創薬シンポジウム2021 ; 2021 Aug 26-27 ; Web開催.
- 10) 前田貴大*, 恒枝宏史, 杉山聖典, 石塚日菜子, 和田 努, 笹岡利安. 視床下部オレキシンの作用増強による中枢神経を介したNASH/HCC進展の防御機構. 次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム2021 ; 2021 Aug 28 ; Web開催.
- 11) 前田貴大*, 恒枝宏史, 杉山聖典, 石塚日菜子, 高田慎治朗, 和田 努, 笹岡利安. 視床下部オレキシン系の活性化によるNASHおよびHCCの進展防御. 第95回日本糖尿病学会中部地方会 ; 2021 Sep 4-5 ; Web開催.
- 12) 宮澤佑一朗*, 和田 努, 王生美沙, 布施健人, 塩練久史, 恒枝宏史, 笹岡利安. 乾癬外用薬Calcipotriolによる糖尿病治療の可能性. 第95回日本糖尿病学会中部地方会 ; 2021 Sep 4-5 ; Web開催.
- 13) 笹岡利安, 前田貴大, 和田 努, 恒枝宏史. 視床下部神経ペプチドオレキシンの睡眠と覚醒の制御によるインスリン抵抗性と非アルコール性脂肪肝炎の改善. 第36回日本糖尿病合併症学会 ; 2021 Oct 8-9 ; Web開催.
- 14) 宮澤佑一朗*, 和田 努, 王生美沙, 布施健人, 塩練久史, 恒枝宏史, 笹岡利安. 乾癬治療薬Calcipotriolの外用が肥満2型糖尿病マウスの糖エネルギー代謝に及ぼす影響. 第20回日本内分泌学会北陸支部学術集会; 2021 Nov 3 ; 金沢.
- 15) 湯舟香春**, 恒枝宏史, 杉山聖典, 山岸永和, 大西兼悟, 和田 努, 笹岡利安. 嗅覚系を介した食前後の脂質利用の調節機構とその生理的意義の解明. 日本薬学会北陸支部第133回例会 ; 2021 Nov 14 ; Web開催.
- 16) 桶川 晃*, 和田 努, 恒枝宏史, 笹岡利安. 肥満病態エネルギー代謝調節機構に対するペリサイトPDGFシグナルの重要性. 日本薬学会北陸支部第133回例会 ; 2021 Nov 14 ; Web開催.
- 17) 宮澤佑一朗*, 和田 努, 王生美沙, 布施健人, 塩練久史, 恒枝宏史, 笹岡利安. MC903塗布による肥満マウスの病態改善機構の解明. 日本薬学会北陸支部第133回例会 ; 2021 Nov 14 ; Web開催.
- 18) 北村楓花*, 和田 努, 桶川 晃, 恒枝宏史, 笹岡利安. 内臓脂肪組織におけるペリサイトの脱離を介した脂肪肝細胞の増殖・分化メカニズム. 日本薬学会北陸支部第133回例会 ; 2021 Nov 14 ; Web開催.
- 19) 杉山聖典*, 恒枝宏史, 湯舟香春, 山岸永和, 永井真華, 佐藤清史, 松田樹大, 大西兼悟, 和田 努, 笹岡利安. 嗅覚系を起点とした中枢性脂質代謝調節による2型糖尿病の防止機構. 第32回分子糖尿病学シンポジウム ; 2021 Dec 11 ; 岐阜.

◆ その他

- 1) Sasaoka T. Strengthen of willdynamics via the olfactory system to prevent depression and diabetes. 文科省科研費 新学術領域研究「意志動力学 (ウィルダイナミクス) の創成と推進」2020年度第2回領域会議; 2021 Mar 17-18; Web開催.
- 2) 笹岡利安. 血管新生因子の基礎代謝制御による肥満糖尿病治療の新展開. 令和3年度金沢医科大学大学院医学研究セミナー ; 2021 Jun 2 ; Web開催.
- 3) Miyazawa Y*, Wada T, Ikurumi M, Fuse K, Shioneri H, Tsuneki H, Sasaoka T. Topical application of MC903 ameliorated diet-induced obesity by increasing energy expenditure and muscle fiber thickness in mice. 6th Toyama-Basel Joint Symposium; 2021 Sep 15 ; Web開催.
- 4) 恒枝宏史, 杉山聖典, 湯舟香春, 永井真華, 山岸永和, 和田 努, 笹岡利安. 嗅覚系を介したパブロフ型条件反射による2型糖尿病の防御効果. 第99回北陸糖尿病集談会 ; 2021 Nov 27 ; Web開催.